よえもん

2015年1月　第21号

今月のことば

古郷に帰る心のいかなれや
久しく旅に年をふりつつ。

書・渕田瑞穂さん
出典・中江藤樹の和歌

「ふるさとに帰る心をどうしたものか。長く旅の生活に歳月を過ごしてきたものよ。」という意味です。
故郷から遠く離れ、米子から大洲へと、長い間旅の生活をしていたので、故郷を思い帰りたいという気持ちが高まるのを、自分でもどうしようもない。
この歌には、「立志」という題が付いています。
志を立てて故郷を離れたからには、それが成就せぬうちは、帰れないという強い心の内が、見て取れます。
皆さんは、この正月、いくつの懐かしい顔に会いましたか？

シリーズ よえもん　かもの春祭り

かも村の春祭りのできごとでした。
小川村では見かけない人がやってきて、お酒をお金を払わずに、名前も言わないで、持って帰っていきました。
すると、藤樹先生は帳上帳にさらさらと筆を走らせました。　門人たちは、その様子を見て心配しましたが、先生の歌は、みんなの心に温かくひびきました。

ごんずわらじに　がまはばき　知らぬおかたに　酒三升
しかもその日はかも祭

4、5日たって、その人は再びお店へきて、竹筒に銭を入れて一礼をし、静かに立ち去って行きました。
その日の藤樹先生や門人たちの顔は、とても明るくおだやかでした。　貧しいくらしの中でも、周りの人を温かくもてなし、心はおおらかで和やかでした。

記念館便り

明けましておめでとうございます！
今年も記念館と「よえもん」をよろしくお願いします。
1/11(日)に藤樹書院で講書初めがありました。「孝経」を読むという藤樹先生が始めた行事です。

近江聖人中江藤樹記念館
高島市安曇川町上小川69 TEL/FAX (0740)-32-0330